



装丁と巻頭

18 書画帖

4帖 大正4年(1915)
絹本墨書、絹本着色
本紙各35.1×42.7

当時、麹町区飯田町にあった教育通信社からの献上。当初は、101名による書画帖を計画していたようであるが、実際は、96名の書画が「元」「亨」「利」「貞」の4帖に分けられて取載されている。その巻頭を飾るのは、伯爵土方久元の「大典詩」と寺崎広業「旭日静波」。奉祝の為の詩歌と画題が凝縮されたような画帖である。

<展示 第1期-17>



小室翠雲「富嶽」



山田介堂「菊」



菅橋彦「国主献酒図」



津端道彦「富嶽」

- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に¹出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

祝^{いわい}美^{のび}——大正期皇室御慶事の品々

三の丸尚蔵館第45回展覧会

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 野崎印刷紙業株式会社

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十九年九月二十九日発行

©2007, The Museum of the Imperial Collections